

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 8 月 3・17 日 (18 : 00～21 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 10 名 (常勤者 5・非常勤者 5)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	8	2	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	6	4	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	7	3	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	3	7	0	10

できている点
意識的に声かけをしている。表情・動き・反応を観察している。ご利用者の話を聴く。声掛けや安全を心掛けている。居心地よく過ごせるよう心掛けている。初日を特に配慮している。記録やその日の予定をチェックしている。家族にはその日の状況を伝えるようにしている。信頼関係が築ける様に気を配る。アセスメントからの注意点を意識して関わっている。

できていない点
対応に慌ててしまっている。要望が多すぎて対応しきれないでいる。ご家族の状況や心情まで心配りが出来ていない。ご家族の支援に関わる機会が少ない。心を閉ざしている時、タイミングを待つばかりで積極的に関われない。記録のチェックを忘れる。ご家族に介護の不安を出してもらうまでに至っていない。介護の不安を直接聞くことが少ない。ご本人やご家族の事業所に対する期待が何なのか把握できていない。

次回までの具体的な改善計画
勤務時間や経験、役割によって情報収集に差が生じていることから、一日の中でのミーティングの工夫を検討し、共有を深めることが必要と考え、その日の役割分担した内容を担当者が記録に残すことを業務で明確に意識して行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 8 月 3・17 日 (18 : 00~21 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 10 名 (常勤者 5・非常勤者 5)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5	4	1	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	10	0	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	6	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	3	1	10

できている点

本人のペースに合わせている。その日の希望は実現できるように支援している。日々の支援は出来ている。目標を共有している。「できること、したいこと」を一つでもよいから実現してもらおう。ご本人に直接聞くように心がけている。ミーティングで共有して取り組んでいる。日々の楽しみのため実現に関わっている。その場には対応出来ている。工夫の努力をしている。

できていない点

本人の思いに沿うこと。「～をしたい」の把握ができていない。ゴールに関わることができていない。ご本人の本当の思いが引き出せない。自宅での「～をしたい」に関わること。目標の理解をしていない。長期的な目標への関わり。スタッフ会議で確認振り返りしたことが現場に活かされていない。個々の満足に至っていない。やらなければならないことが先となり、「～をしたい」を後回しにしている。

次回までの具体的な改善計画

日々の支援はできているが、長期的な目標を考えた具体化のプロセスが具体的になっていないことが実現困難にしているととらえ、ゴールに向けたスモールステップの達成評価を明確化する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 8 月 3・17 日 (18 : 00～21 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 10 名 (常勤者 5・非常勤者 5)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	7	3	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	9	1	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	4	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	8	2	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	6	4	0	10

できている点	その日の状況を把握してケアをしている。一人暮らしの方には、持ち帰りお惣菜を提供して食の支援をしている。ご利用者の体調に合わせたケアをしている。状態を考えて支援している。体調を観ている。臨機応変に対応している。所内で介護技術の基本を振りかえっている。問題が起きた時は一人で抱え込まないようにしている。ミーティングで共有している。
--------	---

できていない点	自宅での生活。冷蔵庫のチェック。変化に速やかに対応する。以前の暮らしの把握。自宅での様子。記録することを忘れている。心に寄り添った支援が出来ているか疑問。個別な配慮に欠けている。変化に気づきながらも、伝えることが不十分。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	「以前の暮らし方」を把握するには、ご本人や家族の話から情報収集しますが、ご本人らしさは生活する自宅にもあることを意識して訪問時にも情報を集め、ミーティングやスタッフ会議で共有する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 8 月 3・17 日 (18 : 00～21 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 10 名 (常勤者 5・非常勤者 5)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	2	7	1	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	4	5	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	5	2	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	3	6	10

できている点
訪問時の近隣とのあいさつ。近隣に出かけている。ある程度の暮らしは把握している。情報から理解を深める努力をしている。地域でのあいさつ。情報から把握している。つながりを切らないように配慮する。

できていない点
民生委員をしらない。ご本人を取り巻く地域の人を知らない。民生委員含む関係者を知らない。以前の情報を知らない。ご本人と地域を結ぶ働きかけが出来ていない。24 時間を把握していない。「ほ一む」以外はほとんどわからない。ご本人に対しての理解。民生委員や地域資源について。

次回までの具体的な改善計画
事業所全体が、ご本人の生活スタイルや地域とのかかわりが把握不足であることが解ったことから、地域資源の知識不足を補うためにも、個別の暮らしマップを作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 8 月 3・17 日 (18 : 00～21 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 10 名 (常勤者 5・非常勤者 5)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	4	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	8	1	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	6	3	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	7	3	0	10

できている点

その日の情報を伝達して工夫している。ミーティングにより変化に合わせた対応をしている。変化を細かく報告する。個々のニーズに応じている。情報共有するように努めている。状態に応じている。柔軟に対応している。ボランティアさんの参加、外出、散歩、買物等を大事にしている。

できていない点

医療度の高い方への対応×3。収集した情報を活かしきれていない。的確な判断とケア。インフォーマルな資源を活用していない。夜間の緊急対応が難しい×2。訴えに左右されニーズまで対応できていない。地域のサポーターとのつながりが浅い。記録が一部のスタッフになっている。

次回までの具体的な改善計画

柔軟な対応には日々のかかわりの記録を全員がかかわり共有することが必要と考える。その際身体的・感情的な共通した観察項目を作成し変化が見える記録にする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 8 月 3・17 日 (18:00~21:00)

6. 連携・協働

メンバー 10 名 (常勤者 5・非常勤者 5)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	7	1	1	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	5	0	2	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	5	3	0	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	6	2	0	10

できている点	<p>所内会議に参加している。他職種との連携は取れている。日常的に近隣の保育園の子供と交流している。食事・排泄・入浴も介助は出来ている。明るい雰囲気作りをしている。あいさつを交わしている。手作り野菜を作っている方が訪問している。今年度より自治会に参加して福祉部に所属している。他の事業所との連携・協働には積極的に行っている。</p>
--------	--

できていない点	<p>事業所としての参加はしているが、個人的には参加出来ない。連携を広げる努力をしている。利用者以外の高齢者や中高生が立寄ることは無い。積極的でない。事業所から言われたら参加している。新宿区以外とのつながりが無い。部分の交流はあるが「地域にとってのメリット」まで至っていない。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<p>これまでの各種参加は一部の者に片寄っているので地域の各種機関との集まりには、地域とのつながりを理解し深めるためにも複数か常勤者が順番で参加する。</p>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 8 月 3・17 日 (18:00~21:00)

7. 運営

メンバー 10 名 (常勤者 5・非常勤者 5)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	4	3	2	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	1	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	9	1	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	7	3	0	10

できている点	必要と思うことは発言している。事業所として色々な試みをしている。質問はしている。意見をいっている。近隣に配慮している。
--------	---

できていない点	自身の積極性。知識・経験が無い。地域に働きかけが不足。地域からのニーズに応える取組や提案が不足。未だ地域に開かれた状況になっていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	地域住民との話し合う機会をつくるなど、 <u>地域と一緒に考えることを積極的に行ってみる</u>
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 8 月 3・17 日 (18 : 00～21 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 10 名 (常勤者 5・非常勤者 5)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	0	7	3	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	5	4	1	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	2	6	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	0	9	0	9

できている点	
所内研修に参加している。理解を深める様努めている。外部研修は報告している。事業所から言われた研修には参加している。資格取得している。	

できていない点	
外部の研修に参加する。ヒヤリハットをその場限りになっている。リスクに対しての認識に差がある。	

次回までの具体的な改善計画	
ヒヤリハットを個人に止めず共有すること。 <u>有給の一部で外部の研修を受ける。</u>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 8 月 3・17 日 (18:00~21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 10 名 (常勤者 5・非常勤者 5)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	4	0	0	10
②	虐待は行われていない	5	4	1	0	10
③	プライバシーが守られている	4	5	1	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	2	1	5
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	7	0	0	10

できている点	
人権を守り心あるケアを目指している。プライバシーを守っている。拘束・虐待はしていない。無理強いをしない。人権を意識してケアをしている。	

できていない点	
成年後見制度の理解。ズボンを持って介助をしている。個人名を言うことがある。大声を出して誘導している。プライバシーの配慮に欠けている。障害に応じたケアの理解が浅い。	

次回までの具体的な改善計画	
尊厳あるケアの理解を深める。成年後見制度の研修をして理解する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	NPO法人 オーバル	代表者	室井啓子	法人・ 事業所 の特徴	開設して2年半市内初めての事業所として、各研修には積極的に参加してきました。場所は、静かで閑静な住宅街。海、山、スーパー等が身近にあり、散歩、買い物、調理を、共に楽しんで行っています。「ここに来ると安心」と言ってもらえるのは嬉しいのですが、「お家に居ても安心」と感じられるまでつながりを深めたいと考えています。
事業所名	おーばる・ほーむ	管理者	室井啓子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	3人	0人	1人	2人	1人	2人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			具体策などわかりやすい。 努力していることがわかる。 スタッフミーティングが重要になる。	事業所の目標、スタッフ個人の目標を作る。チームで取り組むことを意識し、情報共有のため表現力を高め、読解力をつける。
B. 事業所のしつらえ・環境			温かい雰囲気を感じる、居心地の良い空間になっている。 近隣に気づかい、地域に開かれた事業所になろうと努力している。	・近隣住民にアンケート調査をする。それによって地域との関係性や課題を明確にして改善に向ける
C. 事業所と地域のかかわり			場所が分かり難い。 相談しやすい場になる事で、地域に根付くと思う	・近隣住民の意見を聞いて、看板や標識の設置を考える。・まちかど相談所であることをPRする
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			出向いて関わっているか不明。 利用者以外のかかわりで、具体的な内容が必要。 近隣との関わりが不明	・かかわったことを報告する。 ・アセスメントに具体的内容を取り入れて、暮らしマップを作る
E. 運営推進会議を活かした取組み			相互の交流の仲立ちになる。 高齢者が暮らしやすい介護が出来る事業所にする為にも意見を出し合う。	・改善計画を、「即できる事、時間をかけて改善を図る」に分類し、随時推進委員会で検討を図る
F. 事業所の防災・災害対策			この地域は訓練をしていなかったが、今後行う予定なので参加してほしい。 周辺の協力が必要となるので日頃からの接点があると良い	・訓練を年2回予定。 ①事業所のみで行う ②地域で行う訓練に参加する ・防護用具をすぐ取り出せるようにする